

100人会議活動報告①

推進員、行動開始!!

「住民参加のまちづくり」を進めるため、計画実施の過程で住民参加について検討し、先頭に立って活動する「100人会議」が誕生しました。

この「100人会議」では、中村市長から委嘱された市民41人の推進員が「住民参加指針チェック班」「美化推進活動班」「広報・啓発班」の3班に分かれ、来年3月までさまざまな活動を行います。各班の活動については「広報・啓発班」がこの「広報しろい」で、毎月1回(15日号)、計6回の報告をします。

住民参加の必要性

9月27日に保健福祉センターにて、NPO法人東京ランボの辻利夫氏をお招きし、推進員、一般市民が「住民参加」についての研修を受けました。

二時間を超える講演と質疑応答に参加者は熱心に耳を傾け、住民参加の必要性を再認識しました。と同時に私たちのこれからの活動に対して強く使命感を抱きました。

この勉強会は今後も予定されています。皆さんもぜひ参加してください。一緒に白井市を盛り上げていきましょう。

行政サービスの対象は住民であり「住民の行政への参加」と「地域コミュニティへの参加」は、今後ますます

重要です。ますます驚きの「ミ」の多さ

「美化推進活動班」のキックオフとして10月11日、一般市民と中村市長、100人会議推進員合せて36人が市役所から白井駅までゴミを拾いました。



ゴミ退治、成果を前に記念撮影

ゴミが多かった場所は交差点付近の中央分離帯、横断歩道脇の歩道など人が立ち止まる場所や車の停車する場所でした。

ゴミの種類は空き缶、ペットボトル、吸殻のほか自転車もあり、ゴミ袋が約100袋にもなりました。参加者一同ゴミの多さに驚かされ、マナー向上の必要性を感じさせられた活動となりました。市と市民が連携しての、ポイ捨てされない環境づくりが急がれます。

秘書課内100人会議事務局 内線3373

★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

100人会議活動報告②

各班の活動について

住民参加の先頭に立って活動する、「100人会議」推進員41名は、それぞれ各班に分かれて日々様々な活動を行っています。

▼美化推進活動班

田中市長以下14名は2回目の班会議を行い、10月に行われた美化活動を通じての、意見が交わされました。「街は自分の家の延長と考え、それを認識してもらおう行動が必要」「住民が捨てたとは思えないゴミに憤りを感じ、市で厳しい対処や処罰を積極的に行ってもらいたい」「落書きが非常に多く清掃が必要」などが出されました。

11月14日と15日にホームセンターGET前の中央分離帯で、他の班員共同で草取りと花植えを行いました。また来年3月まで毎月第2土曜日に、ゴミ拾いを中心とした美化活動が決まりました。

次回(1月)は西白井駅周辺を予定していますので、市民の皆さんも是非参加してください。参加希望の方は「100人会議事務局」までお問い合わせください。

折しも白井市ではこの4月に、「まちをきれいにする条例」が施行されました。長期的な計画を立て、ポイ捨てされない環境づくりが大切ではないでしょうか。

▼住民参加指針チェック班

市が取り組んでいる住民参加事業について、市から報告された状況調査に基づきその事業をチェックします。

現在、三好班長以下16名の班員が作業にあたっており、11月に2回の班会議を行います。来年3月末に推進員全体会議に報告し、「100人会議」の意見として市に提出します。

▼広報・啓発班

「広報しろい」に4月15日号まで活動報告をします。初めての市民原稿なので、前例がない作業は試行錯誤の連続です。水谷班長以下12名の班員は分かりやすい言葉で伝えるため、表現一つ一つに対して細かく意見を出し合っています。

この「広報しろい」のスペースも新たな市民参加の型として、今後も活発に利用されるべきでしょう。

推進員は仕事や家事、その他の活動も行っている白井の市民です。各自多忙の中、市、市民のために今活動を行っている最中です。

秘書課内100人会議事務局 内線3373

★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

100人会議活動報告③

順調！ 好調！

つながりのある住民参加

昨年の11月14、15日に美化推進班が中心となり、ホームセンターGET前の中央分離帯で花植えを行いました。延べ人数約50人が7時間にわたる作業で、色とりどりのジオラ、スイセンの球根を植えましたので、ぜひご覧ください。

今回は草花に詳しい石田班員に、中心的存在として活躍していただきました。交通量が多く、危険な作業でしたが班員の家族や友人の方の応援があった、つながりのある住民参加だったのではないのでしょうか。参加いただいた皆様には大変感謝いたします。

今回の活動は、2月14日のゴミ拾いの予定です。どなたでも参加できます。(詳細は事務局へ)



保も頑張るぞお、お花畑作り

チェック班、進進中

11月29日には2回目の「住民参加協議会」の後、チェック班の会議を行いました。

した。市が行っている事務や事業が「住民参加指針」に沿って進められているかをチェックする作業です。

この指針には、住民参加の保障と情報の共有などを一層進めるために、市が優先して取り組む10の事項があります。それは「情報公開コーナーを充実すること」「職員の意識改革」「住民からの相談・提言への対応を担う住民参加推進組織の設置を検討すること」「住民団体の活動拠点を整備すること」などです。

その前提に立ち、各事業ごとに進捗状況を記した執行状況調書が、市から提示されました。活発な議論の中で独自のチェック表が作成され、それに基づいて評価を進めることになりました。

チェック班は職務の折り返し地点を通過し、ゴールに向かって邁進中です。

昨年の12月に市民活動推進センターが誕生しました。「主体的白井市民」になるための拠点として大いに期待が持てます。まちづくりには、市民一人ひとりの参加が不可欠です。できることから始めましょう。

秘書課内100人会議

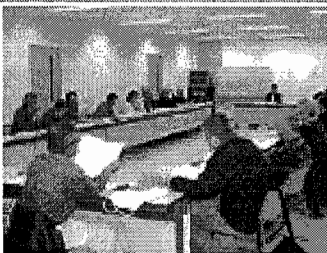
事務局 内線3373
★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

100人会議活動報告④

市民参加条例案

昨年12月27日に市から、市民参加条例案と、その解説書が各推進員に届きました。

1月8日には、100人会議が開かれ市からの説明のあと、今後の市民参加のめどとなるこの条例をより良い形のものにするために、各推進員が意見や質問を活発にしました。また会議後も意見を出す機会が市から設けられました。



2004年、最初の100人会議

条例の目的とは

市民参加の仕組みを明確にし、市政の透明性を高め、市民の意向を市政運営に的確に反映できる事を、目的としたものです。

市民の意見提出を！

今後、市では100人会議での意見を踏まえ、条例案を作成します。それに対する皆さんの意見(パブリック・コメント)が3月に予定されています。

詳細は広報しるいの3月1日号(予定)で案内されます。同時期に市のホームページ、市役所1階にある情報公開コーナーなどで、この条例案が公表されますので、

市民全員が目を通して、積極的に意見を出しましょう。

★参加してみませんか
100人会議の活動は、市のホームページにも掲載されています。最新情報はこちらをご覧ください。上曜日を中心とした活動ですので、休日を利用して、会議の傍聴や美化活動に参加してみたいいかがでしょうか。

次におけるのは、12月中旬から今年1月中旬までのその他の活動です。

【美化活動】

12月13日、市役所から白井駅周辺。1月10日、西白井駅周辺。西白井駅周辺はさほどゴミが多くないと思われましたが、表面からは見えない場所(特に植え込み)に缶やビンがたたくさん捨てられています。駐輪場もゴミが多かったです。

【住民参加執行状況のチェック】

12月13日と20日。この作業は11月から進められていますが、市が住民参加指針に沿って、事務作業を進められているかをチェックする作業です。

秘書課内100人会議

事務局 内線3373
★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

意見書、準備進む

美化推進活動班は「ポイ捨てされない環境づくりの意見まとめ」を行っています。

1月18日と31日の会議で、これまでの活動の感想や意見を出し合い、「ゴミをいかになくすのか、ゴミを捨てないようにするかを、話し合いました。現在、自治会をはじめ各団体がそれぞれの美化活動を行っています。それを組織づくりから整理し、美化活動、広報活動など、総合的な考えをまとめる予定です。



100人会議の看板(ホームセンター前)

1月17日、24日には住民参加指針チェック班が、市の事業が「住民参加指針」に沿って進められているかを、各自議論をしながら評価し、意見を出しました。この2つの意見は今後もそれぞれの会議でさらに審議され、今月に行われる100人会議に報告され、その後、市に提出します。

■「市民参加条例素案」を二覽になりましたか？

私たち推進員は、行政活

動への市民参加に対する具体的な手続きなどの内容を盛り込んだ「市民参加条例素案」に、162件の意見を出しました。それに対する回答が1月24日に市から出され、詳細な説明がありました。

推進員の意見を踏まえ、修正された条例素案が、3月1日号の広報しろいに掲載されています。また市のホームページ、市役所の情報公開コーナーや各センターでも閲覧できます。

市では今、市民の意見(パブリック・コメント)を求めています。この条例素案は今後の市民参加のルールを決める、重要な条例となります。是非、この条例素案を読んで、皆さんの意見を出しましょう。

■市民が主役のまちづくり
「ゴミを捨てないこと、捨てること、そして、市の活動に参加するなど、私たちが簡単にできることばかりです。市民参加を難しく考えず、できることから始めてみませんか？

私たちの住むまち、白井市。さらに住みやすくしていくのは他ならぬ、私たち市民一人ひとりで。

■ 秘書課内100人会議事務局 内線3373

★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

活動は続く

100人会議では毎月、美化活動を行っています。

2月14日に西白井駅周辺、3月13日には市役所から白井駅までのゴミを、2時間にわたり丹念に拾いました。

外からは見えにくいように意図的に捨てられたゴミ、車から投げ捨てられたような弁当容器、吸い殻、雑草、缶、ビンなど、挙げ始めたらキリがありません。参加者全員の思いはひとつです。ゴミのない、きれいなまちになってほしいと……



推進員をまとめる田中美化推進活動班長（中央）

副皆さんの心掛を

昨年4月に施行された「白井市まちをきれいにする条例」を忘れていませんか？

私たちが快適な生活環境を確保するための条例です。この条例には公共の場所などにゴミを捨てたり、飼犬のふんなどを放置した人を対象にし、勧告に従わない場合の罰則規定（3万円

以下の過料）があります。

条例の有る無しに関わらず、市民一人ひとりの、まちをきれいにする心掛けを持つことが大切ではないでしょうか。

きれいで住みやすい白井できるまちづくりをしていきましょう。主役は市民全員です。

■美化活動の継続

美化推進活動班は、3月で任期を終えましたが、引き続き毎月第2土曜日に活動します。これは次期100人会議（6月頃予定）が発足するまで、継続して行うべきという班員の強い意向から生まれました。

活動場所は市のホームページでお知らせします。各地区でも美化活動が盛んです。まちをきれいにする第一歩として参加してみたいかがでしょうか。驚くことが多々あるかと思えます。

■活動報告追加決定！

広報・啓発班担当のこの報告は、今回で最後の予定でしたが、すべての活動をお知らせできないため、5月15日号にも掲載することになりました。次回が第一期100人会議の最終報告です。乞うご期待です。

■ 秘書課内100人会議事務局 内線3373

★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

SHIROI 100 KAIGI

100人会議活動報告⑦

職務完了！

3月29日に100人会議 吉田治男委員長が推進員を代表し、提案書を中村市長に提出しました。

▲活動1、200時間の成果 提案書
吉田委員長から中村市長へ



▶中村市長と100人会議推進員

提案とは行政への住民参加の進捗度をチェックした「住民参加指針実施状況評価結果報告および評価組織に関する提案」と白井市をゴミのないきれいなまちにするための「まちをきれいにするための提案」の2つです。

昨年発足した100人会議は、美化活動、住民参加指針執行状況のチェック、市民参加条例（素案）への意見提出「広報しろい」への活動報告など、多岐にわたる活動を行いました。

これらの活動を通して私たちはさまざまな経験を、

市民参加とは？について議論を重ねました。今回の提案書はそのひとつの答えとして、今後、白井市の市民参加をさらに進めるために役立てばと思います。

提案書提出後は市長を交えて、活動の感想、現状の問題点や意見交換などの懇談をしました。

私たちがサポートしてくださった事務局、市民の皆さんに感謝いたします。

そして現在、新年度の100人会議推進員を募集しています。市民活動を盛り上げるために、参加してみたいかがでしょうか。

代表者のコメント

100人会議

委員長 吉田治男

総勢41人の推進員と市秘書課との共同作業による、課題①行政への住民参加の進捗度チェック②実践活動に基づく街を美しくする員体化案が、今後の展開の起点となることを願っています。

住民参加指針チェック班

班長 三好清香

今回は市民が行政の市民参加に関する行動状況を評価する初めてのケースで、手探りでしたが、推進員はそれぞれの白井市の未来に対する想いを胸に、評価を行えたと思っています。

美化推進活動班

班長 田中和人

美化活動を通じて、多くの人と知り合えたことに感謝します。私達のまちをきれいする美化活動は、今後も続きますが、皆さん、ぜひ「ポイ捨てしない」参加もお願いします。

広報・啓発班

班長 水谷 巖

100人会議各班の活動は実に熱のこもったものでした。その温度が皆さんに伝わったでしょうか？

引き続き、新年度の活動も掲載します。またお会いしましょう。

◎ 秘書課内100人会議事務局 内線3373

★この記事は広報・啓発班により作成されたものです。

白井市 100 人会議

市長より委嘱状が各推進員に交付され、今年度100人会議が7月28日に誕生しました。

2期目の100人会議

昨年度設立した100人会議は2期目を向かえ、昨年度を中心メンバーに、新たな推進員を加えた17人が職務にあたります。

この日第1回会議が行われ、事務局より今期の職務構成および活動計画案の説明がありました。職務は大きく分けて3つとなります。

- 市内の美化活動
- 市民参加活動の広報・啓発活動
- その他市民参加に関する活動

役員選出

各推進員の自己紹介があり、役員を選出が行われました。

委員長には、前期の美化活動班で副班長を務めた深澤正昭さん、美化推進活動リーダーは田中和八さん、広報・啓発活動リーダーは水谷巖さんが選ばれました。また副リーダーは副委員長を兼任する事になります。

主な活動スケジュール

8月21日の第2回会議で主な活動スケジュールが決まりました。

美化活動は毎月第2土曜日に行います。どなたでも参加できますので、ぜひ参加してください。活動場所

などの詳細は市のホームページにてお知らせします。また、地区ポランティア団体との連携を検討中です。



ホームセンターGET前での草刈り（9月11日）

私たちの活動および市民参加の活動を取材し、「広報しろい」で毎月15日号に掲載していきます。

毎月第1土曜日には全体会議と「広報しろい」の編集会議を行います。

これからの会議で市民参加の具体的な手法や、体制づくりなどが検討され、実践していく事になります。

今後ますます市民活動は重要になってきます。100人会議は市民と行政をつなぐパイプであり、市民活動を大いに盛り上げる役目となります。

市民活動に関する情報100人会議への意見などがありましたら事務局までご連絡下さい。

□ 市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井駅を出て左に行くと千葉興業銀行の下に小さなトンネルがあるのをご存知でしょうか。その壁には市民の絵が描かれています。

観点の違う美化活動

実は100人会議の美化推進活動リーダーである田中氏が代表を務める「しろい☆まちかど美術館」が企画したものです。

絶えない落書き。それを消すだけではなく、心のあふれる絵を描いてはどうか。ごみ拾い、花植えとは観点の違うこの団体は昨年10月に発足しました。

活動をアピールするため、今年の二十祭、5月のワンパク大会などに参加、7月より原画を募集しました。

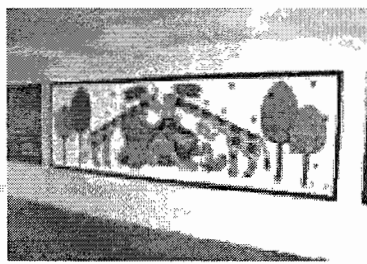


下絵を描く二十祭実行委員

8月に入り美術館スタッフ、原画の作者、学生、二十祭の実行委員が週末を中心に集合。透明のフィルムに原画を写し、壁に投射機で彫絵のように映して下絵を描きました。思ったよりも忠実に描く事ができ、ペンキによる色塗りもスムーズにいきました。

10月にはトンネル内の8

面が完成。24日にオープンイベントが行われまし



現在在任の主婦が描いた絵

この活動は継続していきますので、活動に協力してください。活動に協力してください。活動に協力してください。

●連絡先 田中和八（497）1229

美化活動調査中

市の美化活動の実態はどうなっているのか。市民に各活動を知ってもらうため、100人会議では活動内容や活動場所を調査しています。近いうちにこのスペースで報告します。

桜台をきれいに

12月11日(土)に月1回の美化活動を桜台で行う予定です。桜台にお住まいの人にはチラシによる回覧や掲示で詳細をお知らせいたしますので、ぜひ参加してください。

□ 市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

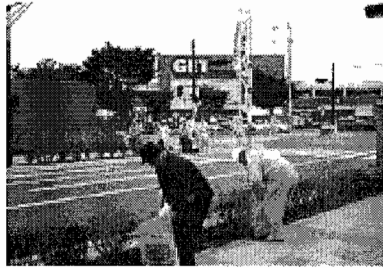


美化活動マップ

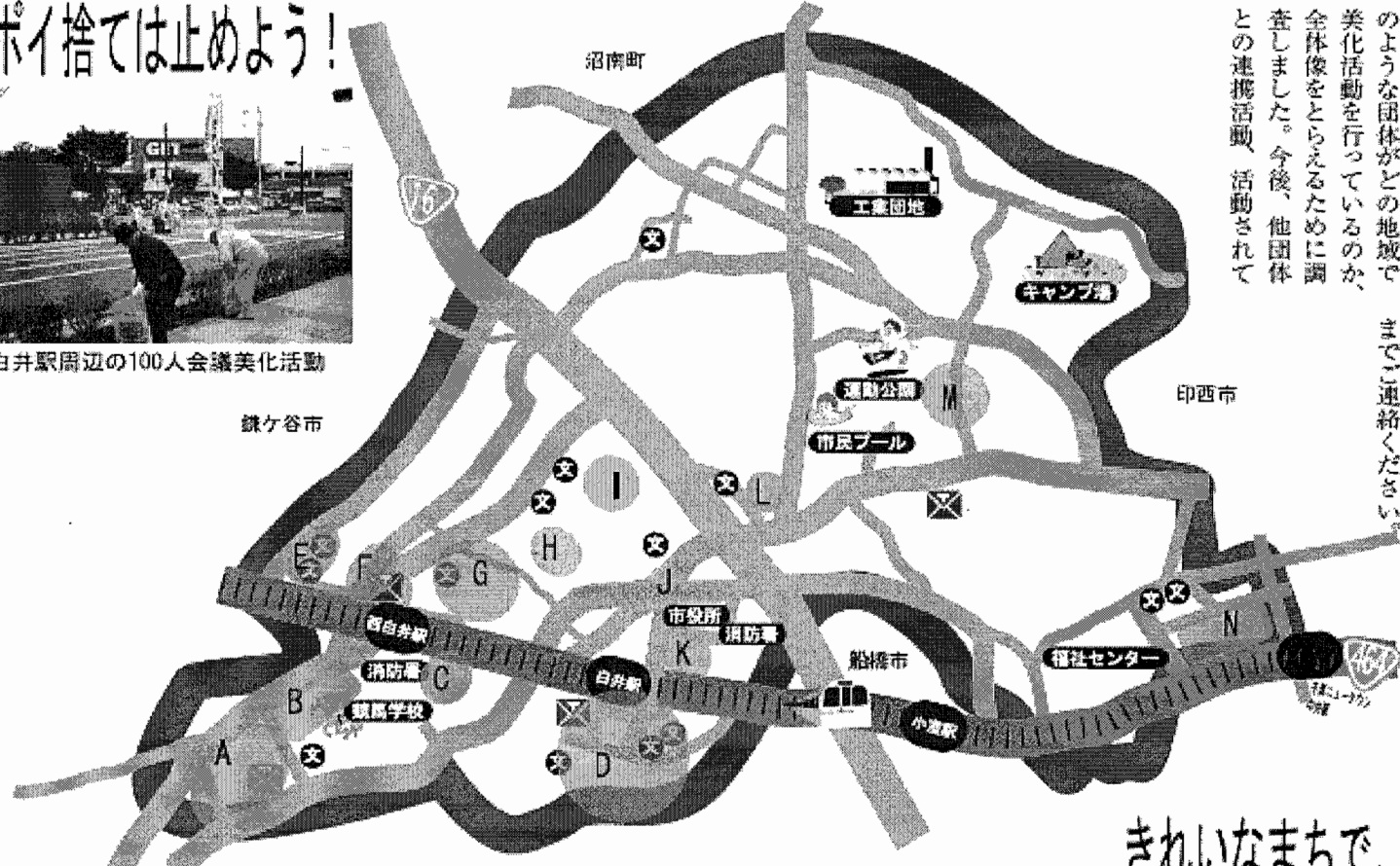
REPORT 03

★ 市民参加推進課 100人会議事務局 内線 3151
 この記事は100人会議により作成されたものです。

ポイ捨ては止めよう!



白井駅周辺の100人会議美化活動



まずはこのマップをご覧ください。皆さんどのような地域に感じますか。100人会議では現在どのような地域で美化活動を行っているのか、全体像をとらえるために調査しました。今後、他団体との連携活動、活動されて

いない地域の美化活動をします。この地図に記載もれのない地域がありましたら、事務局までご連絡ください。

きれいなまちで、快適生活

※このマップは11月15日までの情報をもとに作成しています。

活動一覧

- A ▶ 栄ボランティア (栄区) 栄婦人会 (栄区) 栄区環境部
- B ▶ 有志活動団体
- C ▶ けやき自治会
- D ▶ 七福会 しろい☆まちかど美術館 生き生きライフしろい 白井シニアクラブ yui 白井駅地区区長連絡協議会 環境部会
- E ▶ 大山口1丁目自治会
- F ▶ 大山口1丁目東自治会
- G ▶ 生き生きライフしろい 白井社会ボランティアの会 (SSVA)
- H ▶ 七次台自治会
- I ▶ 七次台3丁目自治会
- J ▶ 有志活動団体
- K ▶ 100人会議
- L ▶ 白井地区子ども会
- M ▶ NPO法人しろい環境塾
- N ▶ 白桜会 白桜会ボランティア部会

100人会議からのお詫びと訂正 広報しろい 11月15日号の白井市100人会議の記事で紹介した「しろい☆まちかど美術館」は「元気集団はなばたけ」が企画した活動です。ご迷惑をおかけいたしました関係者の皆さんには深くお詫びいたします。

100人会議では美化推進活動の行動計画策定に係わる実態調査を行っていただきます。各美化活動団体、自治会の皆さんなどにご協力いただいております。

市内全域調査

今まで北総線沿線の住宅地を中心とした美化活動を行ってきましたが、それ以外の地域にも活動を広めるべく調査を行っています。

昨年の12月16日にその調査の一環として、マイクロバスによる巡回調査を2時間程行いました。国道16号線を境に市役所とは反対側の富塚、今井、平塚、神々廻などを推進員が巡回、どのようなところにゴミが落ちていたのか調査にあたりました。

道路脇にはゴミは多くありませんが、外から見えない場所には多数のゴミが見受けられました。今後この地域の活動が焦点となり、美化活動を推進して行きます。

定期美化活動／花植え

昨年11月12日・13日の両日にわたり、前期に引き続き白井駅近くにあるホームセンターGET前にて花植えを行いました。

雑草の根が延び広がった土を掘り返す作業は大変でしたが、きれいな色とりどりの花を植えることができました。皆さん、ご覧になられたでしょうか。

定期美化活動／桜台

翌月の12月11日には桜台において、ゴミ拾いを行いました。桜台はこの地域の住民が定期的に美化活動を行っており、桜台に住む推進員の呼び掛けにより、多数の参加がありました。

ここ最近の美化活動では多くの市民に参加していただき、大変感謝しております。



桜台センターでのゴミ分別作業

「市民まちづくりフォーラム」開催決定

1月22日(土)に白井駅前センターにて、市と100人会議が主催する、「市民まちづくりフォーラム」が開催されます。詳細は1月1日号の「広報しろい」および市のホームページをご覧ください。多数の参加をお待ちしております。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

市民は、まちづくりの主役

これをテーマに市と100人会議の主催で「市民まちづくりフォーラム」を1月22日に開催しました。

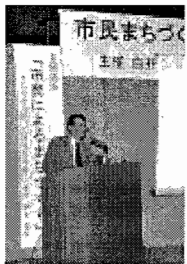
会場となった白井駅前センターのレクホールには約70人ほどが集まり、共に市民参加・市民活動について考えました。

このフォーラムでは市民活動に精通している、日本女子大学の田中雅文教授を招き、地域社会の変化、市民活動の重要性などについて講演していただいたり、市で活動する市民活動の事例として、白桜会ボランティア部会と以前ここでも紹介した、しろい☆まちかど美術館に今までの活動を発表していただきました。

白桜会は美化活動やパトリールを行うボランティア部会のほかに、健康スポーツ部会など複数の部会があり、昨年3月の発足にも関わらず、128人の参加者がいるそうです。

自分自身のためにも

田中教授のお話の中に、市民活動に参加して良かった事として、友達が増えたり、人間としての成長、生きがいとなった、といった



講演する田中教授

ことをあげていました。まちや人のための活動が、自分自身のためにもなる。こういったメリットが市民活動にはあるようです。

あらゆる世代で



意見交換会を手際よくまとめる田中教授

フォーラムの最後には、各団体への質問、市民活動についての意見交換会を行いました。

ボランティアに若い人が少ない、子どものころからボランティアに参加すべき、と言った若い世代に対する意見もありました。

今後、市民と市との協働社会が必要となります。楽しいまち、夢のあるまちづくりのために、子どもから大人まで、あらゆる世代での市民参加を活発にしていきたいでしょう。

3時間にわたり行われたこのフォーラムで、市民参加・市民活動の必要性、重要性を感じたのではないのでしょうか。

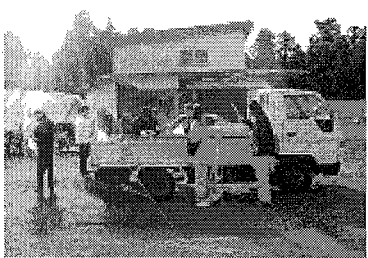
市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

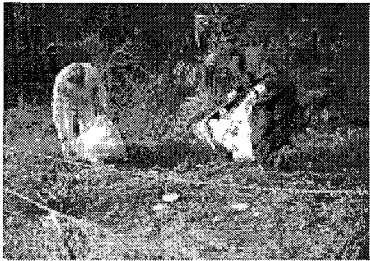
今回100人会議は住宅地を離れ、河原子街道沿いの美化活動を行いました。

まだまだ寒い2月11日の建国記念の日、推進員は朝9時に現地集合。作業手順を打ち合わせ、ゴミ袋とトングを手に取り街道に向かいました。



朝9時、作業準備

一手に別れゴミ拾いを開始。道路沿いの草むらほごみの宝庫。空き缶、ペットボトル、雑誌、弁当袋など多種多様なゴミが散乱。人通りが少ないので、タバコの吸い殻は比較的少ないですね。



散乱するゴミを拾う推進員

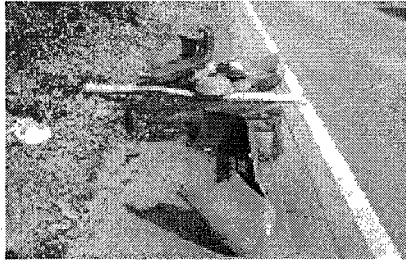
午前10時30分にはトラックにいったばいとなったので、冷たい飲み物を飲みながら小休止。その間3人が即西タリンセンターまでゴミを捨てに行きました。残り

の人は継続して、先へ先へと進みます。



トラックいっぱい

車のバンパー、バッテリー、タイヤなど車ゴミ、ベッド、自転車など大きなゴミが今回印象的でした。拾った量は多いけれど範囲は狭かったので、今回の活動は消化不良気味でした。



バンパー、マットなど巨大なゴミ

◆100人会議募集
さまざまな活動を行っている100人会議では、新たな推進員を求めます。詳細は3月1日号の広報しろい、および市のホームページをご覧ください。

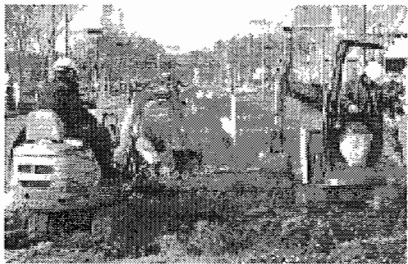
□ 市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

花植え作業

「ポイ捨てをされない環境作りのモデル地域の一つとして、第1期100人会議より始められた白井停車場線（白井駅から市役所までの間）への花植え作業を実施しました。今回は昨年11月に植えたパンジーに引き続き、マリーゴールドを植えました。この花植えは今回で3回目となります。3月10日午前8時30分過ぎ、白井停車場線にユニック車が到着し、重機2台が中央分離帯に降ろされ、花を植えるための掘り起こし作業から開始されました。作業が完了したのは午後4時頃でした。



2人の重機操縦者が大活躍

今回の作業は中央分離帯に雑草が蔓延しており、掘り起こし作業を人海戦術で行うには限度があるのではないかとの不安がありました。加藤推進員からフジコー株式の桑原社長に100人会議の意向を話したところ、重機

2台とその運搬用のユニック車および操縦者の協力を快く引き受けていただいたことで順調に進めることができました。

また、道路の中央分離帯の作業のため、道路交通法により印西警察署の作業許可が必要でした。この許可申請に当たっては短期間にも関わらず、100人会議事務局の「市民参加推進課」が素早く対応してくれたので、作業が可能となりました。正に民官一体の花植え作業と言えます。

さらに、3月12日からの数回にわたる花植え作業には「生き生きライフ」「アイルス」「夢いっぱい」「池の上三丁目園芸クラブ」「SSVA」などの多くの人が参加していただきました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。立派な花園の誕生で、第2期100人会議も有終の美を飾れることになり、第3期活動への弾みがつきました。

団体、個人を問わず、この区画の花壇を管理してくださる人を募集します。詳しくは左記事務局までご連絡ください。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

4月14日に委嘱状交付式があり、中村市長より各推進員に委嘱状が交付されました。

初参加の5人を加えた19人の推進員で、平成17年度100人会議がスタートしました。



中村市長と新生100人会議推進員

活動報告書提出

委嘱状交付式の前に、推進員を代表して深澤委員長、田中副委員長、水谷副委員長が、平成16年度の活動報告書を中村市長に提出しました。

内容は1年間の活動実績、活動を通じての問題点、提言など、これぞ市民の気持ちがいっぱいの報告書です。昨年度は月1回の定例会議やほかの団体を交えての「まちづくりフォーラム」の開催、多くの協力者に助けられた花壇祭りや美化全般の実態調査など、大変有意義な活動であったと思います。

第1回会議

事務局からの職務と構成についての説明、推進員の

自己紹介があり抱負や活動意欲をそれぞれ述べていただきました。また役員については、会議参加者全員一致で昨年度の役員が引き続き任命されました。

100人会議が誕生して3年目。市民にも認知されるようになりました。

私たちは「まちをきれいにする活動」に取り組んでおられますが、それは市民の皆さんの協力が不可欠です。推進員は市民の皆さんの市民活動参加への道筋をつくる手法や体制づくりを検討し、併せて啓発活動を行うていきます。



結構ハードな花壇作業でした

まだまだ募集

里親制度の実現や「ごみゼロ運動」の活性化など、やるべき事はたくさんあります。推進員は随時募集していますので事務局まで連絡してください。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。



里親制度

REPORT 09

白井市 100 人会議

5月14日(土)の会議で、第1土曜日の会議開催、第2土曜日の美化活動が昨期と同様に決定しました。7月以降の美化活動は、7月9日(土)に西白井、8月13日(土)に桜台の予定です。会議の傍聴や、美化活動の参加を待たせておきます。

提言の回答

4月に美化活動に関する提言をしたところ、各関係部署(環境課、建設課、財政課、都市計画課)から回答がありました。各部署の考えや方針がわかり、今後の活動の参考となりました。

里親制度に向けて

まず取り掛かるのが里親制度(アダプトプログラム)の普及の二つでもあります。100人会議では、この里親制度実現に向けて活動していきます。

里親制度とは

聞きなれない言葉かと思いますが、市民と自治体が公共スペースの清掃、管理を一致協力して、取り組むシステム。養子のように愛情をもって面倒を見る事から命名されました。

1985年にアメリカのテキサス州で生まれ、日本各地でも普及が進んでいるものです。

市でも美化活動へのご支援の支給、清掃用具の貸し

出したごの支援をしていますが、白井市ならではの「まち美化システム」を実現したいと考えています。

里親募集

この里親制度実現に向けての第一歩として、ホームセンター「GET」前の中央分離帯にある花壇について管理していただく団体を募集中です。



里親募集中

この花壇は第1期100人会議推進員から継続して花の植栽や整備をされています。最近では、多くの美化活動団体をはじめ、市議会議員3人にも協力いただき、大変きれいな花壇になりました。

推進員募集

新しい仲間を募集しています。市民参加の手続きを考へてみませんか。

市民参加推進課 100 人会議事務局 内線 315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議



念願のテーマ

REPORT 10

第3期活動スタート

6月に入り、本格的な第3期の活動がスタートしました。

まず、美化推進活動として、白井停車場線沿道(PT前)の中央分離帯に作ったせっかくのお花畑が雑草畑にならないように、6月4日に雑草取りを行いました。午前中に20人近くで実施しましたが、一部しか終わらせることができませんでした。

お花畑一つにしても、その維持管理には、大変な努力を必要とすることを改めて痛感しました。ぜひ皆さんに協力していただきたいと思えます。



ごみ袋に入ったお花畑の雑草

新制度への第一歩

6月11日には3回目の会議を行い、去る4月に中村市長へ手渡した第2期の提言書の最終目標「環境美化里親制度の実現」を主テーマとする市との意見交換会を実施しました。

環境美化里親制度は昨年の第1期の提言書にも取

り上げられた念願のテーマで、環境美化の維持管理における究極の姿を具現しているものです。米田繁洋の「アダプト・プログラム」を翻訳したもので、公共の場所(公園・道路・河川など)を養子にみ立て、市民ボランティアが里親となって養子の美化(清掃・花植え活動など)を行い、行政はこれを支援する新しい制度です。

会議の中で市の説明は、「現在、ごみの収集に6団体、花植え・植栽に36団体、そのほかまちかど美術館などの支援があり、実質上は環境美化里親制度に近いものとなっている。将来的にはこれらを確認された制度に取り込んでいきたいが、制度に関しては先例の調査・研究の段階にある」とのことでした。

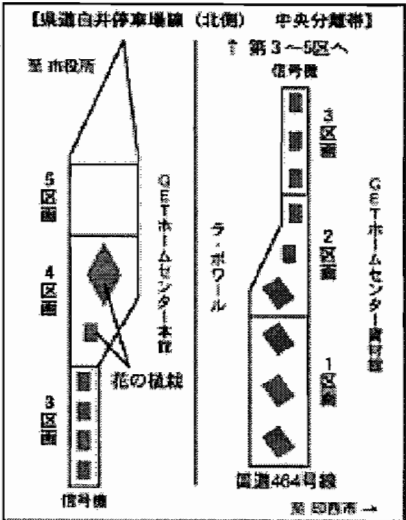
私たちは制度実現を少しでも早めるための新たな第一歩として、市の協力を得ながら、先のお花畑を養子として推進委員を里親とする環境美化里親制度のモデルケースを生み出すことにしました。この制度や活動に興味のある人は、お問い合わせください。

市民参加推進課 100 人会議事務局 内線 315

★この記事は100人会議により作成されたものです。



5区画に分けて REPORT 11



全長230m

今、100人会議が管理している花壇の長さです。「環境美化里親制の実現」に向けて、その第一歩となる場所として維持管理をしています。養草取りをしてきれいな花壇を維持しようとしています。花壇全体を一言に合同で作業するには面積が広く、追いつくことができないのが現状でした。

競い合いと助け合いの心で

そこで花壇を右の図のように5区画に分け、それぞれの区画を3、4人で担当し、区画ごとに時間がある時に声を掛け合い、作業をすることにしました。自分の作業する範囲が明確になり、ほかの区画との競い合いや、助け合い心が芽生えるでしょう。

この花壇や環境美化里親制度に興味のある人、協力したい人は、100人会議

事務局までご連絡ください。

SSVAとの作業

SSVA(白井社会ボランティアの会)という団体をご存知でしょうか。南水口3丁目を中心とした市民団体です。7月9日に100人会議とSSVA、有志の約40人が、西白井駅周辺のごみ拾いを行いました。

多種多様なごみを拾いましたが、個人のチカラによってごみが無くなることを改めて知ることができました。

参加された皆さん、ありがとうございました。

今後の予定

9月10日(土)に西白井複合センターで開催される今年3月に行われた環境美化関連講座の第2回目への参加と、10月の「ふるさとまつり」への参加を予定しています。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。



真夏の美化活動 REPORT 12

8月のお盆休み中も、100人会議は活動しました。8月14日は毎月の美化活動を実施。夏ということもあり、サマータイムを導入して朝8時から活動を開始しました。

「みみは決められた場所へ

今回は市役所から白井駅までのごみ拾いをしました。時間を早めたとはいえず、照りつく太陽で、すぐに汗が吹き出てきました。

具体的内容を検討

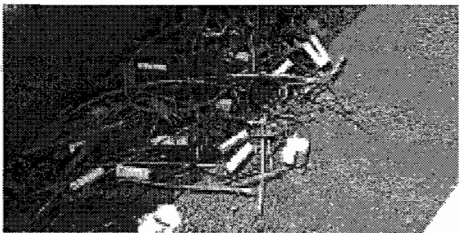
「環境美化里親制度」の実現に向けて、8月6日の全体会議で基本プランについて検討しました。千葉県内ですでに導入している4つの市の導入事例を参考に、まず基本となる対象場所、市民の役割(どのような活動をするのか)などを話し合いました。

緑の旗に注目

100人会議オリジナルの旗が、出来上がりしました。環境をイメージした緑色をベースにして、新機種のデザインにしました。美化活動などには、この旗を掲げて活動しますので、ぜひ注目してください。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。



タバコの吸殻は吸引入れに

右の写真をご覧下さい。白く見えるものはタバコの吸殻です。このごみは100人会議で管理している花壇の横に捨てられています。交差点のとこるなので、信号待ちの間に捨てられたと思われず。空き缶、ペットボトルは相変わらず捨てられています。そして、スーパーやコンビニエンスストアの袋も捨てられています。

この袋については商店、そして私たち利用者共々、考えなければいけないので



市民とともに
REPORT 14

環境課からの協力依頼があり、市民と10月15日に花植え作業を行いました。



花植え作業に参加した市民と 100 人会議推進員

場所は市役所前から小室方面に向かう歩道植栽部分。市民約40人が集まり、シャベル片手に手分けをしながら約2時間の作業を行いました。
花を植えるという目的だけではなく、仲間と世間話をしながら和気あいあいと作業するのも楽しいものです。今からでも遅くありませんので、100人会議に参加してみませんか。

そのほかの活動
●10月1日には第7回会議を開催。環境美化委員制度関連(富里市、八千代市訪問の内容報告、名称の検討)、11月の花壇植栽の打ち合わせを行いました。
●10月8日には市役所から白井駅までの清掃活動、GREET前の花壇整備を行いました。

市民参加推進課 100人会議事務局 内線3151
★この記事は100人会議により作成されたものです。



冬の季節に彩りを
REPORT 15

今年度の100人会議の活動も後半に突入しました。「冬の季節に彩りを」という事で白井停車場線ゲップ前の花壇に、新しく花を植える事にしました。

11月5日(土)



芝桜の植え替え

次週の花植えのために、この春植えた花で、役目を終えた花を整理しながら、草取り、芝桜の植え替えを行いました。

11月12日(出)

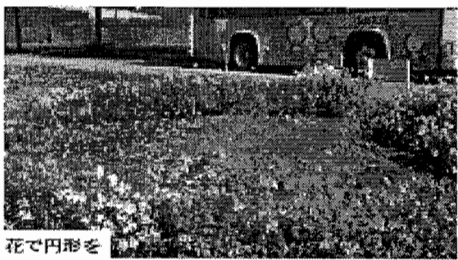


まだまだ続く花植え作業

大量に用意した色とりどりのヒオウチを100人会議推進員、市民の皆さんとスッコップ片手に植えました。

思ったよりスペースが余ったため、目を敵め、追加の花を用意して作業を行う事になりました。

11月23日(祝)



花で円形を

国道464号側の花壇を中心に作業。100人会議の文字の上をなぞったり、写真のように円形に花を植えてみました。

市民活動をこのペースで

100人会議では市民活動を取材し、このスペースに掲載します。取材を希望する場合は事務局まで連絡ください。

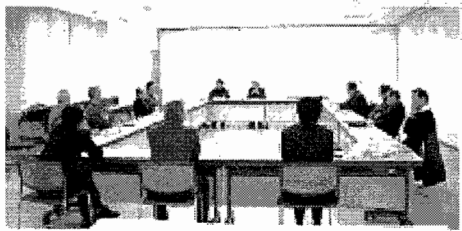
市民参加推進課 100人会議事務局 内線3151
★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

環境美化里親制度の確立にむけて

昨年(2005年)の12月10日に環境美化里親制度、今後の美化活動について会議を行いました。100人会議が管理している花壇の花植え作業を中心に活動していただくので、2カ月前の会議となりました。

今回の会議の内容は環境美化里親制度の現況確認、1月から3月までのスケジュール決めなどです。



第1土曜日の定例会議

環境美化里親制度については、市民参加推進課を中心に関係部署と連絡をとっていますが、さまざまな問題をいくつかクリアしなければならぬ状況です。より良い制度の確立に向けて今回の会議でもさまざまな意見が飛び交いました。

今期の活動

今期は環境美化里親制度

の実現に向け、そのモデルケースとしてホームセンターGRT前の花壇の管理をしました。活動のアピール度を高めようと、のぼり旗を作り花壇にも数本設置しています。



▶100人会議ののぼり旗

もっと100人会議は多彩な活動ができる団体だと思います。もっと100人会議を発案させ、市民のためになる事を行ってほしいと思います。

今後の予定

今後の予定は2月11日(祝)と3月4日(土)が会議、3月11日(土)が美化活動となります。

会議の傍聴や美化活動への参加ができますので、時間や場所など気軽に事務局までお問い合わせください。100人会議への意見、希望も歓迎です。

- ① 市民参加推進課100人会議事務局 内線315
- ★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100 人会議

美化活動からスタート

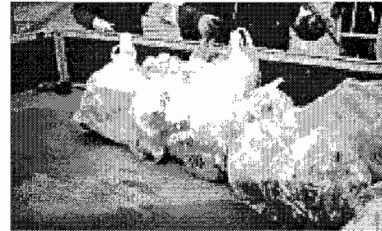
2006年の100人会議の活動は美化活動から始まりました。

1月14日朝9時、100人会議の深澤委員長から新年のあいさつがあり、今年初めての活動が保健福祉センター前から始まりました。



新年の挨拶をする深澤委員長

小雨が降るあいにくの天気でしたが、無事最終地点の白井駅までの作業を終え小休止の後、GRT前の花壇のごみ拾い、枯れた草花を取り除きました。



ポイ捨てはやめよう

今回、交差点2カ所で事故があったようで、車の破片が道路に散乱。車に注意しながら、取り除く作業も行いました。交通量が多く、見通しの

悪い交差点が最近増えていきますので、市民の皆さんも注意してください。

いよいよ後2カ月

現在の推進員の任期は3月末までですので、残り2カ月を切り、活動は会議が2回、美化活動が1回となりました。環境美化里親制度を中心に活動してきましたが、この制度の実現はまだ時間がかかりそうです。

近日募集予定



活動を続けた推進員たち

4月からの新年度への準備も着々と進んでいます。環境美化里親制度に興味のある人、市民活動を盛り上げたい人、100人会議の一員となり、何か実行したい人は近日中に新たな推進員を募集する予定です。ぜひ応募してください。

- ① 市民参加推進課100人会議事務局 内線315
- ★この記事は100人会議により作成されたものです。

「ハローしろい」で
放映されました

2月19日に千葉テレビ放送

で放映された、市の紹介番組「ハローしろい」を皆さんご覧になりましたか。

今回「しろいの環境づくり」を紹介するに当たり、市の推薦により「白井社会ボランティアの会（SSVA）」が市民活動団体の代表として選ばれ、その活動が放映されました。



撮影は2月6日に行われ市民団体の「生き生きライフ白井」や市民も多数参加して銀冬の中、活動に協力しました。

千葉テレビ放送の女性レポーターも活動に加わって、マルエツ西白井店前から桐水口3丁目にある調整池まで美化活動を経験しました。

放映では「白井社会ボランティアの会」の黒岩会長が、花いっぱい運動、地球温暖化防止への取り組みについてインタビューに答えました。

環境問題は世界的な大きな問題です。まず市民が身近に出来る事から何か始めてみましょう。

大きな前進へ

先日、アダプトプログラム（環境美化里親制度）の導入にかかわる検討会の報告がありました。

2月8日に関係課によるこの制度の策定・運用について話し合いが行われ、白井市バージョンのアダプトプログラムの制度を策定する事が決まりました。大きなステップも決まり、この制度の実現に向けて大きな前進となりました。

第4期推進員募集

100人会議ではさまざまな実践活動を通して、中村市長に提案を行っていきます。

私たちの活動も4年目に突入し、現在の推進員に加え、新しい仲間を募集しています。

白井市を任みやすいまちにしていくため、一緒に考え、活動を行っていきましょう。そして提案書を出しましょう。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

第3期100人会議推進員は今期最後の会議と美化活動を行いました。

名称検討

最後の会議は3月4日に行いました。

新しい環境美化システムである「環境美化里親制度」をこの1年検討してきましたが、平成18年度での制度運用に向け、この新システムの名称案を推進員で出しました。

名称案は25案出され、1次選考として、各自3名称を選んでもらい、上位の人気名称と新たな案を基に、次期推進員により最終決定を行う予定です。

次期の活動

4期目の推進員募集ポスターを作成するに当たり、次期の活動を何にするか、何をしたいかを各自意見を出し合い、それを基にポスターの内容を検討しました。

意見の半分は美化に関する内容でほかには防犯活動、市民活動の活性化などがありました。ほとんどの推進員は来期も継続して活動しますが、実際の活動内容については新推進員の意見を加え決定します。

活動報告書

1期ごとに1年の活動をまとめた活動報告書を市長に提出しています。

第3期の活動概要および活動の詳細表、提言書の内容を推進員で確認する作業を行いました。

市民の協力があってこそ

美化活動を3月11日に保健福祉センターから白井駅まで行い、その後100人会議の花壇に移動し、草むしりと落ち葉やごみを拾い、1年の活動を終えました。



100の草花文字

私たちの活動には多くの市民団体、市民にも参加していただきました。協力していただいた皆さんには大変感謝しています。ありがとうございます。

4期目の活動や市民団体の活動も継続して、この場で報告します。今後とも100人会議をよろしく願います。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

20人に委嘱

委嘱状交付式が4月25日に行われ、中村市長から推進員一人一人に委嘱状が交付されました。

今期の推進員は昨年から引き続き参加する15人と新しく参加する5人を加えた20人です。



中村市長と第4期推進員

第1回会議

委嘱後最初の会議が同日開催され、事務局から100人会議の職務および構成などの説明、各推進員の自己紹介、役員選出が行われました。

今期の委員長は第1期目から参加し、市民活動に精通している加藤三洲さんに決定。

昨年に引き続き、美化推進活動リーダーに田中和八さん、広報・啓発活動リーダーに水谷巖さんが担当す

る事になりました。今年で4期目となる100人会議ですが、中村市長から「継続することが華である」という言葉をいただきました。

市民活動は地味で地道な活動でもあります。100人会議がこの3年間携わってきた事が、着々と芽生えてきているなど感じます。推進員間で意気投合し、新しい活動団体も誕生しています。白井市は市民活動がさらに活発化しているのも事実です。

一歩進んだ活動を

今年は一歩進んだ活動を目指していきます。今期の新人推進員は5人。新しい視点、感性に期待します。

傍聴できます

毎月1回、土曜日に会議を開催しています。どなたでも傍聴できますので、事務局に日程の確認をしていただき、100人会議をまずあなたの目で体験してください。

年間を通じて推進員を募集していますので、いつでもご連絡ください。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。

第2回会議開催

第4期100人会議が発足され、第2回会議を5月13日に開催しました。

本格的な活動はこの会議からのため、基本的な活動日（第1土曜日の定例会議、第2土曜日の美化実践活動）を決め、今後の活動内容を話し合いました。

活動内容

今年度は中央分離帯花壇管理の継続、環境美化里親制度の実現、「白井市まちをきれいにする条例」の見直しやアピール、まちの美化のために、子供たちに感心を深める活動を行います。



激論飛び交う、100人会議

100人会議とは

市民生活を豊かに、住みやすくするために、私たち市民が何をしたらよいか、今問題になっている事を、どのように解決したらよいか、

か、そういった事を考え、実践していくのが100人会議の活動です。

ホームセンターGET前の花壇はその一例です。

きれいにすれば、ごみを捨てにくくなり、その周辺はキレイになる。定期的な美化活動をしている団体も増え、その人たちのおかげで白井市はずいぶんきれいになったと思います。ただ心ない人もいます。ではどうするか。どうしたらよいか。100人会議ではそのような事を考え、市に提案していきます。

雨降る中も

会議翌日の14日。雨が降りしきる中、推進員は花壇に集まり、草取りを行いました。

当日の朝は、天候が悪く中止も考えましたが、雑草がかなり生え、少々見苦しくなっていたため、作業を行う事にしました。継続することも市民活動では大事です。

100人会議の活動につきましては、今年度も引き続きこのスペースで報告いたします。

市民参加推進課100人会議事務局 内線315

★この記事は100人会議により作成されたものです。

白井市 100人会議

市民活動をアピールするには

市民活動をアピールするために、各団体はさまざまな方法を取っています。例えば、チラシ・パンフレットなどの紙媒体やホームページ・ブログ・メールマガジンなどの電子媒体、帽子・腕章・ブルゾンなどの人が身に着けるものなどがあります。各団体は諸費用が掛かりますが、各団体はそれぞれの方法で活動をアピールしています。

ロゴマーク

100人会議では皆さんの手本になるよう、さまざまなアピール方法を行っています。

まず企業にロゴマークがあるように、100人会議にもシンボルマークが必要ではと考え、名前を知ってもらう事を第一とし、文字を中心としたシンボルマークをデザインしました。

シンボルマークを使い最初に作成したのは腕章でした。予算の関係もあり簡易的なものでしたが、今年度には新しい腕章に作り替えました。昨年度はのぼり旗を作成し、白井ラポワール

前の花壇内に掲げました。そして新たに登場したのはピブスです。サッカーやバスケットボールなどのスポーツで、練習時に使用する

るベストです。写真はモノクロですが100人会議カラーである緑色に、白でプリントされたロゴがとても清潔感あふれたものになっています。



100人会議オリジナルピブス

活動の意識向上

ユニフォームは同じ仲間である事を団体内外で意識させ、活動の意思統一や意欲を向上させます。また道路周辺での活動があるので、目立つ服装は危険防止のためにもなります。

皆さんの手本となるよう、活動をアピールする品々について今後も考えていきます。

6月の活動

6月3日に花壇の雑草取り、6月10日に定例会議を行いました。

現時点での大きな動きはありませんが、美化活動を中心とした話し合いを行っています。

市民参加推進課100人会議事務局 内線3151

★この記事は100人会議により作成されたものです。